



ルチャ・リブロ新聞

第9号 (2017年4月)

4月の開館日

2日(日)、3日(月)、4日(火)、10日(月)、
11日(火)、16日(日)、17日(月)、24日(月)、
25日(火) ※10:00-17:00開館

芸着人類学研究会のおしらせ

◎4月30日(日) 14時～

ゲストに阿南雅昭((福)ぶろ3ぼの職員)さんをお迎えし、「どりちえず、10年先の家族」というテーマでお話を伺います。

研究会費・カード作成料のご案内

ルチャ・リブロでは、図書館活動維持のため、今期より研究会費とカード作成料をいただくことにいたしました。研究会費については、都度おしらせします。新たに会員カードを作られる際には、500円をいただきます。(再発行と同様です。)恐れ入りますが、ご協力よろしくお願いいたします。



おすすめ

◎ 『コロポックルむかしむかし』 佐藤さどる (講談社, 2012)

今年2月に逝去した佐藤さどる氏の代表作で、「小さなお人」=コロポックルと人間との交流や、彼らの冒険を描いた「コロポックル物語」の第3巻です。

本作はコロポックル達の間に伝わる昔話を紹介しており、私たち人間の間でもよく知られる物語と似通ったものも見られます。打ち出の小槌が出てくる「長者さまの種むすめ」では、ラストシーンで、種むすめの選択にはっとさせられます。コロポックルの視点に、触れてみませんか？

特集・「暮らす」「働く」を考える本



山崎ナオキ
『ここに消えない会話がある』
佐々木くん
同じクラスに居ても友達にならない
だらうなー という人達がチームになる
職場という場所...不思議な時空です。

仕事を詩的に切りとった
「職場小説」。
同僚と交わされる 何気ない
会話の中にきらめきを見出す
瞬間に、グッと来ます。
『ジューシーって何ですか』と改題
されて文庫化しましたが、
まずはハードカバーをぜひ。

ルチャ・リブロは東吉野村で活動している小さなお人図書館です。

貸出冊数：3冊まで

貸出期間：1ヶ月

HP: <http://lucha-libro.net/>

所在地：奈良県吉野郡 東吉野村

鷺家 天誅組終焉の地石碑スグ

(近鉄榛原駅より奈良交通バス15
東吉野村役場行き乗車、バス停「鷺家」より川沿い徒歩10分)

